

2018年度 公開講座

(後期 9月～2月)

締切：2018年9月3日

文学・文芸・歴史

※都合により、日程等が変更になる場合があります。
 ※10名に達しない場合は開講致しません。

講座番号
18019

古文書の解読法 (初級編)

講師：細井 計 (岩手大学名誉教授・元本学教授)

古文書学とは、古文書に関する知識を整理し、体系化する学問のことです。日本の歴史や家系に関する史料を自分で読んでみたいが、独学ではなかなか前に進めないと感じておられる方が多くいらっしゃいます。本講座では、手はじめに、江戸時代中期以降に広く普及した女子教訓書「女大学」などを題材に、女子教育の在り方から婦人のこころの持ち方まで、当時の社会に想いを馳せながら読み進めます。

【日程】10/4、11、18、25、11/1 (全5回、木曜)
 【時間】14:30～16:00【定員】80名【受講料】3,000円
 【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18021

戦国大名の正体

講師：鍛代敏雄 (本学教授)

戦国大名は、16世紀前半に地域国家を立ち上げた「国主」(国王)でした。戦国といっても、いつも他国と合戦をしていたわけではありません。大名家中の闘争や肅清も見逃すことができません。戦国大名の心持ちや考え方にも着目して、破天荒なバサウヤカブキとは程遠い、戦国大名の正体に迫ってみたいと思います。

【日程】10/16、23、30 (全3回、火曜)
 【時間】15:30～17:00【定員】50名【受講料】1,500円
 【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18020

古文書の解読法 (中級編)

講師：細井 計 (岩手大学名誉教授・元本学教授)

古文書の様式を正しく理解することは、その文書の効力を正確に理解することに繋がります。古文書が読めなくては、様式論を論ずることができません。本講座では、江戸時代の古文書を取上げ、解読演習を重点的に行います。演習で取り上げる古文書を読み進め、当時の人間関係や社会的背景についても考えます。これまで古文書に触れたことがある方を対象にした中級編の講座です。

【日程】10/5、12、19、26、11/2 (全5回、金曜)
 【時間】10:30～12:00【定員】80名【受講料】3,000円
 【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18022

鎌倉幕府はいかにして成立したか (1) — 『吾妻鏡』 を読む —

講師：岡田清一 (本学大学院教育学研究科長・教授)

源頼朝は鎌倉幕府を創設する過程で、治承・寿永の争乱といわれる、平家や木曾義仲との戦いをくり広げました。しかし、その道のりは軍事的な戦いばかりでなく、京都・後白河院との交渉、さらには養和元年(1181)の飢饉という天災とも対峙しなければならなかったのです。今回は、頼朝成功の背景を『吾妻鏡』治承4年～養和元年条などを読むなかで考えていきます。

【日程】11/8、22、12/6、20、1/10 (全5回、木曜)
 【時間】15:00～16:30【定員】50名【受講料】5,000円
 【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
B5～B8

歴史講座 仙台藩と戊辰戦争150年

今年は戊辰戦争から150年にあたります。この講座は、各回のテーマごとに専門の講師をお迎えして、8回シリーズの歴史講座です。仙台藩の運命を、その後の宮城県への進路にも大きく影響を与えた戊辰戦争とは何であったのか。これまで、戊辰戦争を語るとき仙台藩のことは詳しく論じられず、賊軍、朝敵と言われてきました。仙台藩は朝敵、賊に非ずとの立場で、明治維新とは何であったのかに迫ります。戊辰戦争の正しい歴史を学びわれらが先人の想いに心を馳せ、明日に生かしましょう。各回のテーマと日程は、下記の通りです。募集は締切りでしたが残席わずかにあります。

B5 9/14 (金) 第5回:岩出山伊達家の戊辰戦争と北海道移住
 B6 10/12 (金) 第6回:戊辰戦争と秋田藩
 B7 11/16 (金) 第7回:丸吉 (まるきち) 皆川家日誌に見る戊辰戦争の仙台
 B8 12/15 (土) 第8回:仙台藩儒者の見た異国、異国から見た戊辰戦争

【時間】14:00～16:00【定員】200名【受講料】各回500円
 【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
A11

伊達政宗生誕450年記念歴史講座

講師：濱田直嗣 (サン・ファン館 館長)

こちらの講座は前年から12回シリーズの講座で、既に定員に達しております。

A11 9/22 (土) 政宗が育んだ“伊達”な文化
 【時間】14:00～16:00【受講料】500円
 【場所】仙台駅東口キャンパス

日本文化

※都合により、日程等が変更になる場合があります。
※10名に達しない場合は開講致しません。

講座番号
18010-②～18010-④

禪に学ぶ

講師：大谷哲夫（本学学長）

道元研究の第一人者である大谷哲夫先生に講義をしていただきます。
『正法眼蔵』『永平広録』などの道元禪師の思想は難しいと思っていられる方が多いと思いますが、やわらかな語り口に、いつの間にかうんとうなづいている自分に気づくことでしょうか。わかりやすく筋道のしっかりした講義の中で道元思想の精髓に触れることができる講座です。道元禪師に興味を持っていらっしゃる方であればどなたでも参加できますので安心してお申し込みください。各回の日程は、下記の通りです。

【日程】18010-② 9/12（水）
18010-③ 11/7（水）
18010-④ 12/5（水）
【時間】16：00～17：30【定員】200名【受講料】各回500円
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18023

ウィークエンド茶の湯

講師：風間典昭（元本学特任教授）

本学の茶室“道庵”で、伝統文化となった茶の湯（抹茶）がどの様に伝来し、今日の茶の湯となったかの由来を辿りながら今後茶の湯がどのように展開して行くのかを“用の美”である茶道具を用いて“新しいもてなしのお茶会（茶の改革）”を味わって頂きたいと思えます。

【日程】9/8、10/27、11/17、12/15（全4回、土曜）
【時間】13：00～14：30【定員】20名【受講料】8,000円
【場所】国見キャンパス

講座番号
18024

仙台藩茶道石州流清水派を通して伊達文化の真髄を学ぶ

講師：大泉 康（本学特任教授）

茶道の歴史を学ぶとともに伊達文化の創始者・伊達政宗公による仙台藩茶道の創始を理解したうえで、最終日には仙台藩茶道石州流清水派のお手前を体験することにより、伊達文化の真髄を学びます。

【日程】10/5、12、19、26（全4回、金曜）
【時間】13：30～15：30【定員】50名
【受講料】最終日の菓子・抹茶代として800円（見学のみの方、本学学生無料）
【場所】仙台駅東口キャンパス【締切】8/31（金）

講座番号
18025

美文字講座

講師：佐々木鈴優（佐々木鈴優書道院）

字は心を表します。もし履歴書がきれいに書いてあったら、その方の第一印象は良い印象を与えます。就職活動中の方から「企業様へ提出する書類を綺麗に書きたいけど、実際に書こうと思った時にどんどころに気をつけて書いていけばいいのかわからない」という声を多くいただいております。また、一般的に「お礼状やお手紙を手書きで心を込めて書きたいけど、どうやったら綺麗に書けるのかコツを知りたい」という声も多くいただいております。

【日程】10/6、13、20（全3回、土曜）
【時間】13：30～15：00【定員】50名【受講料】3,000円（本学学生無料）
【場所】仙台駅東口キャンパス

教育・福祉・健康

※講師の都合により、日程等が変更になる場合はご了承下さい。
※10名に達しない場合は開講致しません。

講座番号
18026～18028

家族・介護士・看護師・歯科衛生士のための栄養サポート・口腔ケアセミナー

講師：渡部芳彦（本学教授） 土谷昌広（本学准教授）ほか

噛めない・むせる・食べこぼす・口から食べさせたいなど。本セミナーは、要介護者の食事に関わる様々な課題に焦点を当てて、日常の介護・看護に活かせるような情報を提供します。毎回、前半は栄養・口腔ケアの基礎理論を学び、後半は実技として介護食を試食したり、様々な口腔ケア用品を体験使用することで、食事介助、栄養サポート、摂食・嚥下リハビリテーション、口腔ケアの知識と技術の獲得を目指します。全3回は基本的に同じ内容ですが、対象者の基礎知識、専門用語の理解に配慮した内容となります。（対象者以外の方でもご参加いただけます。）

【日程】18026 9/29（土） 家族・介護士向け
18027 11/10（土） 看護師向け
18028 2/3（日） 歯科衛生士向け
【時間】13：30～16：30【定員】30名
【受講料】教材費の実費1,000円程度
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18030～18031

医療現場の接遇力向上セミナー ①基礎編 ②指導編

講師：小山美智子（株）C-plan 代表取締役、本学非常勤講師）
：木村陽子（有）ビューロコンパス代表取締役、本学非常勤講師）

医療事務職や看護職など医療機関に勤務する多職種にとって、患者接遇をはじめとする対人コミュニケーションは重要です。さらに、指導者として新人職員などにそのスキルを適確に身につけさせるためには、医療接遇の基礎を身に付けた上で、指導する際のポイントを把握して取り組む必要があります。

本セミナーでは、①基礎編において、コミュニケーションの原則、患者の心理、接遇の基本、クレーム対応などについて学ぶ（確認する）とともに、②指導編において、若年層の考え方と行動、育成担当者の心構え、育成方法、教育の実践などを、グループワークやロールプレイなども取り入れつつ、体験的に身につけることを目指します。

【日程】18030 10/13（土）①基礎編
18031 11/18（日）②指導編
【時間】13：30～16：30【定員】各100名
【受講料】各回1,000円（＋テキスト代別途各回1,000円）
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18029

シニア福祉アドバイザー養成講座

講師：池田 潔（シニア福祉相談士検定協会）

高齢者に関わる年金、介護、保険など必要な制度を理解し、助言と専門家を繋げるとともに、生活のトラブル問題、見送り、その後の手続きなど、高齢者が安心して暮らせる環境のサポートに必要な知識をテキストにより自習し、午前は事前講習、午後は認定試験を受験します。

【日程】10/13（土）
【時間】10：00～15：10（事前講習会10：00～13：00 試験14：00～15：10）
【定員】70名【受講料】23,944円
【場所】仙台駅東口キャンパス【締切】9/25（火）必着



福丸



福姫

講座番号
18032

災害時における避難所生活の福祉支援

講師：野田 毅（社会福祉法人東北福祉会）

災害は、身近なところでも起きます。災害によって自宅での暮らしが難しくなり、避難所で生活を送らなければならないこともあります。そんなときに、福祉的な支援を必要としている方々の生活をどのように支えることができるのかを考えます。

また、地域の中の社会福祉施設ができることや果たすべき役割、NPO団体や都道府県単位のネットワーク組織による避難所への支援活動について事例を通して学び、災害時における福祉支援活動や避難所のあり方等の理解を深めていきたいと思えます。

【日程】10/2（火） 【時間】13：30～15：30
【定員】100名 【受講料】500円
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18035

儀礼の効力をめぐる論争

講師：早川 敦（本学仏教専修科）

われわれはふだんあまり何も考えずにさまざまな儀礼に参加しています。しかし、自分以外の誰か（特に外国人など）が儀礼を行っているのを目にした時には、「この人たちはなぜこんな奇妙なことをしているのだろう」という疑問が頭をよぎることがあります。このような状況では、人々が儀礼の効力を信じているかのように見えるわけです。本講座では、このような視線の歪みが宗教学と人類学の理論にどのような影響を及ぼしてきたかという点について考えます。

【日程】11/6、20（全2回、火曜） 【時間】13：30～15：00
【定員】100名 【受講料】1,000円
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18033

笑い与健康

講師：柏倉栄子（本学教授）

笑いについては、「破顔一笑」「抱腹絶倒」「怒れる拳笑顔に当たらず」「笑う門には福来る」などの言葉があります。笑いは、日常の生活や健康に様々な影響を及ぼしているといえます。そこで本講座では、笑いの効用や日々の生活への活用について講義を行いながら、参加者の皆さんと一緒に笑いを楽しみたいと思えます。

【日程】11/10（土） 【時間】13：30～15：00
【定員】100名 【受講料】500円
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18036

高齢者の車椅子適合支援実践講座 （評価・調整・適合まで：基本編）

講師：関川伸哉（本学教授）

現在、高齢者福祉施設（以下、施設）入所者の8割以上が、日常で車椅子を使用しています。しかし、施設で使用されている車椅子の多くは、必要最低限の機能しか持たない搬送車であり、長時間の使用には適しておらず、姿勢の崩れや褥瘡等々の二次障害を生み出す原因となっています。こうした問題解決を目的に我々は、10年間以上にわたり「車椅子適合支援」を実施してきました。本講習会では、施設内での車椅子適合支援実施に向けた基本的技術の修得を目指します。

【日程】2/16（土） 【時間】8：30～17：30
【定員】10名程度 【受講料】5,000円
【場所】国見キャンパス

講座番号
18034

知っているようで知らない悲しみの基本 深い悲しみにかけてあげたい言葉

講師：宮林幸江（本学教授）

誰もが生涯において、大切な方との別れを経験していきます。しかしながら、深い悲しみ（悲嘆ひたん：グリーフという）とは、自らが渦中の人となってはじめて、真にその正体を知り得る特徴があります。周囲の方も、何とか力になれないだろうか、どのような声がけがよいのだろうかかと悩みます。大震災を乗り越えようと歩いている私達です。同時に世は介護の深刻さを問う“2025年問題”を目前にしていますが、このことは多くの方を見送る事態にも突入していくことを意味します。この辺で悲しみの内容や援助において知ってるようで知らない悲しみの基本について考えてみましょう。

【日程】11/27（火） 【時間】15：00～16：30
【定員】100名 【受講料】500円
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18037

更年期は、幸年期・光年期 ～健やかに美しく～

講師：赤井由紀子（本学教授）
：三澤寿美（本学教授）

更年期は、成熟期から老年期へ移行する間の過渡期です。また、女性も男性も、社会的な責任からストレスを感じる事が多くなったり、身体の衰えを実感しはじめて何か老化に抵抗できないものか考えたい時期です。一方、TVのなかでは、女性が美魔女と称して表面的な美しさを競って、過渡期の心身の変化に抵抗することが称賛されています。しかし、年齢を重ねることは本当に不幸なことでしょうか。更年期は、子育てが一段落して、自分の人生や健康を振り返ることができる時期。また、これからの自分らしい人生とは何かを考えて過ごすことができる貴重な時間です。健やかに美しく、光り輝く時間としての更年期を考えてみませんか。

【日程】2/21（木） 【時間】13：30～15：00
【定員】100名 【受講料】500円
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18017

東北に花を 一東北の復興に向けた将来ビジョン

講師：櫻田義孝（衆議院議員）

東日本震災から7年が経過し、震災からの復旧ステージから、震災前を越える「復興」を果たすために、①東北独自の歴史文化を見直し②将来へのビジョンを考える講座にしたいと思えます。とくに国会議員の立場から現在の国政についてご説明するとともに、将来の国と地方の在り方、そして世界の中で「東北地方」のブランドを認知し確立されるためのヒントをこの講座を通じて共に考えたいと思えます。

【日程】11/24、12/1（全2回、土曜） 【時間】13：00～14：30
【定員】100名 【受講料】無料
【場所】仙台駅東口キャンパス

講座番号
18016-②～18016-③

家族と先生のための 発達障がい講座

講師：武田和義（利府町立利府西中学校教諭）ほか

保護者や教職員、特別支援教育支援員等を対象に、発達障がいに関する専門的知識や情報を提供し、具体的な支援の在り方を考えます。発達障がいにかかわる現状と課題について、さまざまな角度からの提言を受け、それに基づいて子どもを理解するための具体的な手立てを見つけていきます。

【日程】18016-② 11/17（土）中学校における発達障がい生徒の支援
18016-③ 2/16（土）発達障がいのある人への就労支援
【時間】13：00～16：00 【定員】各100名
【受講料】各回1,000円、ひかり野塾利用者（今年度）本学学生・院生無料
【場所】仙台駅東口キャンパス

2018年 講座受講申込書

下記の申込書に受講希望の講座番号、必要事項をご記入の上、はがき、FAX、電子メールでお申し込みください。
複数の講座をご希望の場合はこちらで受け付けます。※10名に達しない場合は開講致しません。

※ご記入いただいた情報は、講座のご連絡のみに使用いたします

講座番号			
氏名	ふりがな	年齢	
		歳	
住所	〒		
電話・FAX	電話番号		FAX番号

入手先に✓印をお付けください。 新聞 町内会の回覧 大学からの案内 大学のホームページ
 市民センター 図書館・博物館 その他

会場案内

国見キャンパスおよびステーションキャンパス



< 東北福祉大学国見キャンパス >

■JR利用

JR仙山線 東北福祉大前駅下車 徒歩5分

■バス利用

- ・ 仙台駅前（9番のりば）
999・S899系統、899・S999系統、北山・子平町循環または
子平町・北山循環乗車「東北福祉大前」下車
- ・ 地下鉄南北線・北仙台駅から「東北福祉大前」下車
- ・ 地下鉄東西線・川内駅（2番のりば）から「東北福祉大前」下車

< 東北福祉大学ステーションキャンパス >

■JR利用

JR仙山線「東北福祉大前駅」下車 徒歩0分

仙台駅東口キャンパス



< 仙台駅東口キャンパス >

■仙台駅東西地下自由通路 出入口1から徒歩0分

地下鉄東西線「宮城野通」北1出入口 徒歩3分

ご利用の際は、公共交通機関でお越しください。

※本学に駐車場・駐輪場のご用意はありません。

【お申し込み・お問い合わせ】

東北福祉大学 生涯学習支援室 〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26

TEL : 022-766-8834 FAX : 022-766-8835 E-mail : life@tfu-mail.tfu.ac.jp